

水と緑あふれる地球のために

---

取 扱 説 明 書

---

株式会社 エスアールエスディービー社

# ＜S R S型排水土壌浸潤装置取り扱い説明書＞

## 1. 製品説明

- ① S R S型処理装置は廃ポリエチレンをリサイクルしたエコマーク認定商品です。
- ② S R S型処理装置は浄化槽排水を宅地内で処理します。
- ③ S R S型処理装置の設置位置には流入柵、通気管、検知管が地上に出ています。
- ④ S R S型処理装置は微生物の働きを利用し、土壌に浸潤発散する装置ですので地下水を汚すことは有りません。
- ⑤ 流入柵は、S R S型処理装置の前部に設置してあります。浄化槽からの放流水をいったん溜めゴミ等を装置内に入れないようにするためと装置を点検するためにあります。
- ⑥ 通気管は、S R S型処理装置の中央部に設置してあります。微生物の働きを活性化するための空気の取り入れ口です。
- ⑦ 検知管は、S R S型処理装置の末端部に設置してあり管内に浮きと検知棒が入っていて排水の流入、浸潤により検知棒が上下し装置内部の水位がわかります。

## 2. 保守点検

- ① S R S型処理装置は常に良好な機能を保持させるため正規の維持管理業者による定期的な保守点検（年2～3回有料）とお客様のおおむね週1回程度の保守点検が必要です。
- ② S R S型処理装置の上部が日陰になったり、点検の支障になる様な物を置かないで下さい。
- ③ 別紙＜S R S型土壌浸潤処理装置点検・維持管理説明書＞による。

## 3. 次の場合には有料となります

- ① 装置の機能支障の調査。
- ※ 装置は、設置場所の自然のメカニズムで能力が変化するため保証は致しておりません。

## 4. S R S型土壌浸潤処理装置を長く使用していただくために

- ① S R S型処理装置の機能上、設置場所の土質、浄化槽への負荷、自然条件、維持管理の状況又は、土中に於ける微生物の発生状態等により本装置のライフサイクルは大きく左右されます。
- ② 排水の使用頻度が高くなりますと、浄化槽に負荷が掛かり最終装置であるS R S型処理装置にも負荷が掛かります。BOD等の値が上がる様な場合は、S R S型処理装置のライフサイクルが短くなる可能性が大きくなりますので、負荷を掛けないよう排水を上手に流して下さい。

(株) エスアールエスディービー社  
茨城県笠間市小原4606

TEL 0296-(77)-5801  
FAX 0296-(78)-0087

## ＜ S R S 型土壤浸潤処理装置設置条件 ＞

- ① 土壤浸潤処理装置設置前に、都道府県及び市町村の行政指導の確認をして下さい。
- ② 日照、及び通気が良好で、土壤浸潤処理装置に対して雨水、湧水等の流入の恐れがない場所又は、流入を阻止する手段を講じた場所。(雨水樋が、近くに無いこと。)
 

※降雨時の施工は行わないで下さい。
- ③ 地下水位が高い場所への設置は、地下水位が装置底面よりおおむね 1.5m 以深の所で、湿潤でない場所。
- ④ 擁壁等で、盛土した場所への設置は、隣地地盤の高さで設置(盛土内の擁壁の近くへ設置した場合、擁壁の水抜き及び継ぎ目目地よりの漏水の危険があります。)
- ⑤ 地盤改良材を使用した場所への設置は、改良地盤が装置の近い下部に有ってはならない。(改良地盤が、不浸透層になり浸潤水が、改良地盤より上で溜水となり装置内の水位が上がります。)
- ⑥ 低い地盤で、地山と違う土で盛土した場所への設置には、必ず地山まで掘削して装置を設置して下さい。
- ⑦ 浸潤装置設置場所の地表面下 2 m 以上の厚さが、砂質土又は良質土であること。

### 土の種類と透水係数

浸透度	透水係数 (cm/秒)	土 の 種 類
高い	$> 10^{-1}$	大礫又は中礫
普通	$10^{-1} \sim 10^{-3}$	細礫、粗粒～細粒砂
低い	$10^{-3} \sim 10^{-5}$	極細流砂、シルト質砂
非常に低い	$10^{-5} \sim 10^{-7}$	シルト、粘土、粘土質シルト

- ⑧ 浄化槽及び S R S 型処理装置のメンテナンス契約を専門業者と確実に結んで下さい。  
 浄化槽は、設置 6 ヶ月後の検査で基準値である BOD  $20 \text{ mg/l}$  以下になるように調整されますが、メンテナンスがされていない場合は大量の有機物が浄化槽より排出されるため、浸潤装置内での有機物の酸化分解作用が不十分になり土壤に目づまり等を生じさせるので、浄化槽及び浸潤装置へ過大な負荷を掛けないよう維持管理を確実に行って下さい。  
 ※浄化槽への処理水量を超える生活排水の流入は、浸潤装置の機能低下の原因となります。
- ⑨ 処理施設と他の施設との距離(地方自治体により異なりますので必ず確認して下さい。)
  - 浸潤装置の端から(30メートル)以内に、井戸等の地下水利用の施設がないこと。
  - 浸潤装置の端から隣地境界まで1メートル～おおむね3メートル以上離して下さい。
  - 浸潤装置の端から建築物まで1メートル以上離して下さい。
  - 浸潤装置を並列に設置する場合、装置間は1メートル以上離して下さい。
- ⑩ 浸潤装置は施工要領書に沿って設置して下さい。
  - ユニット内水量測定用の検知管の設置(管継手を使って左右へ移動可能。)
  - ユニット内空気吸排用の通気管の設置(管継手を使って左右へ移動可能。)
  - 設置状況のわかる写真を必ず撮っておいて下さい。
- ⑪ その他装置の設置に関して不明な点がございましたら、お問い合わせ下さい。

## < S R S 型土壤浸潤処理装置点検・維持管理説明 >

S R S 型土壤浸潤処理装置は点検及び維持管理をすることにより装置のライフサイクルを長く保つことを目的にしておりますので、確実に点検・維持管理を行って下さい。

お客様が点検される日常点検と浄化槽の維持管理時に専門業者によって行われる保守点検の2通りの説明です。(別紙点検要領図参照)

確実に S R S 型処理装置及び浄化槽は維持管理会社と維持管理契約を結んで保守点検を実施して下さい。実施されていない場合はご相談に応じかねます。

### 1. 日常における点検 (一般住宅などは1週間に1回点検)

#### (1) 流入枳

- ① ゴミ等が無い事を確認して下さい。
- ② 枳底に汚泥等が溜まるようでしたら維持管理会社に連絡して下さい。  
(現在新たに設置される浄化槽から排出される有機物は設置後6ヶ月位までに20mg/l以下になるように監理会社によって調整されます。)

#### (2) 通気管

- ① 通気口が落ち葉又は土砂等で閉塞されないようにして下さい。

#### (3) 検知管

- ① アクリル棒の上がり具合を見て下さい。
- ② 流入水量により一時的に上がりますが時間の経過と共に下がります。  
アクリル棒が2～3日下がらない状態の時は管理会社に連絡して下さい。

※ 集合住宅等において、お客様が確認できない場合は建物管理時や浄化槽点検時に確認して下さい。

### 2. 維持管理 (浄化槽保守点検時)

#### (1) 浄化槽汚泥引き抜き時メンテナンス

- ① 検知管フローと、流入管口、通気管口を取り外し内部を点検します。
- ② ポンプのサクション (吸い込み) 側配管を検知管内に挿入し、デリベリ (吐出) 側配管を流入枳に入れ散水管の通水を確認しながら装置内水を循環させます。
- ③ 装置内水が低い時は、流入枳及び通気管口より給水し、散水管の通水を確認しながら循環させます。
- ④ 濁水化した装置内水はバキューム車により処分して下さい。

(株) エスアールエスディービー社  
茨城県笠間市小原4606

TEL 0296-(77)-5801  
FAX 0269-(78)-0087

# S R S 型処理装置 日常点検要領図

S R S 型処理装置は日常点検の他に維持管理点検が必要です

( 1 ) 流入柵 ( おおむね 1 週間に 1 回点検 )

蓋を開けて内部を点検し、ゴミ等が浮いていたら取り除いて下さい。

柵底に汚泥等が溜まっていたら取り除いて下さい。

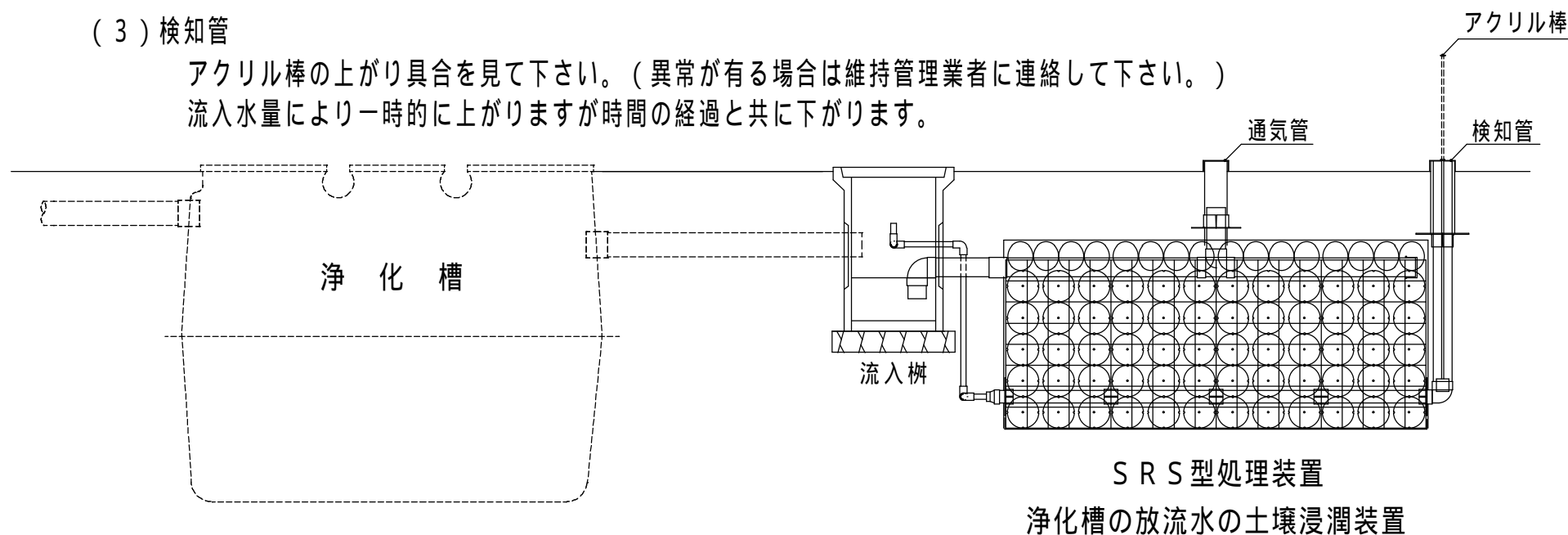
( 2 ) 通気管

通気口が、土や落ち葉等でふさがらないようにして下さい。

( 3 ) 検知管

アクリル棒の上がり具合を見て下さい。( 異常が有る場合は維持管理業者に連絡して下さい。 )

流入水量により一時的に上がりますが時間の経過と共に下がります。

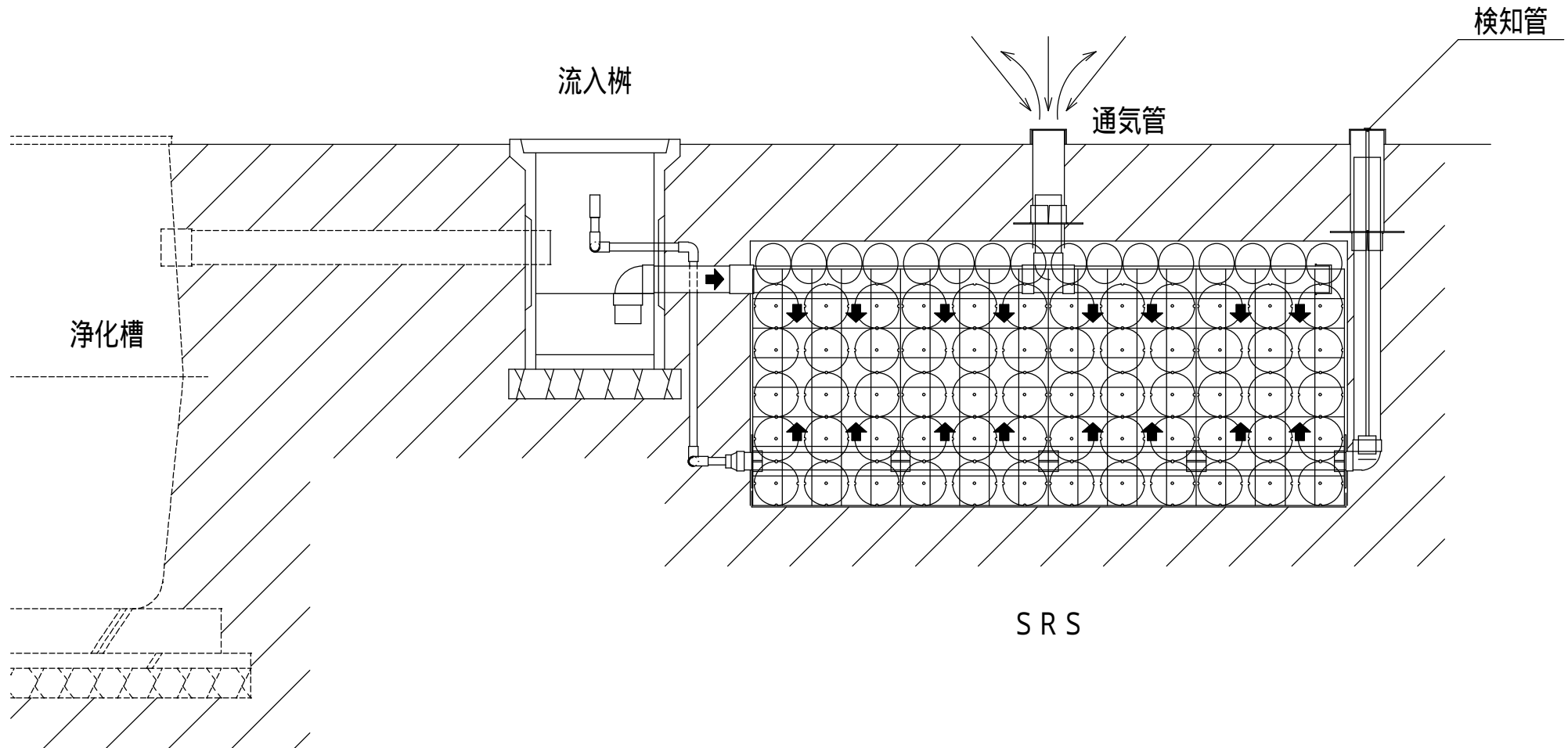


# 排水土壌浸潤装置

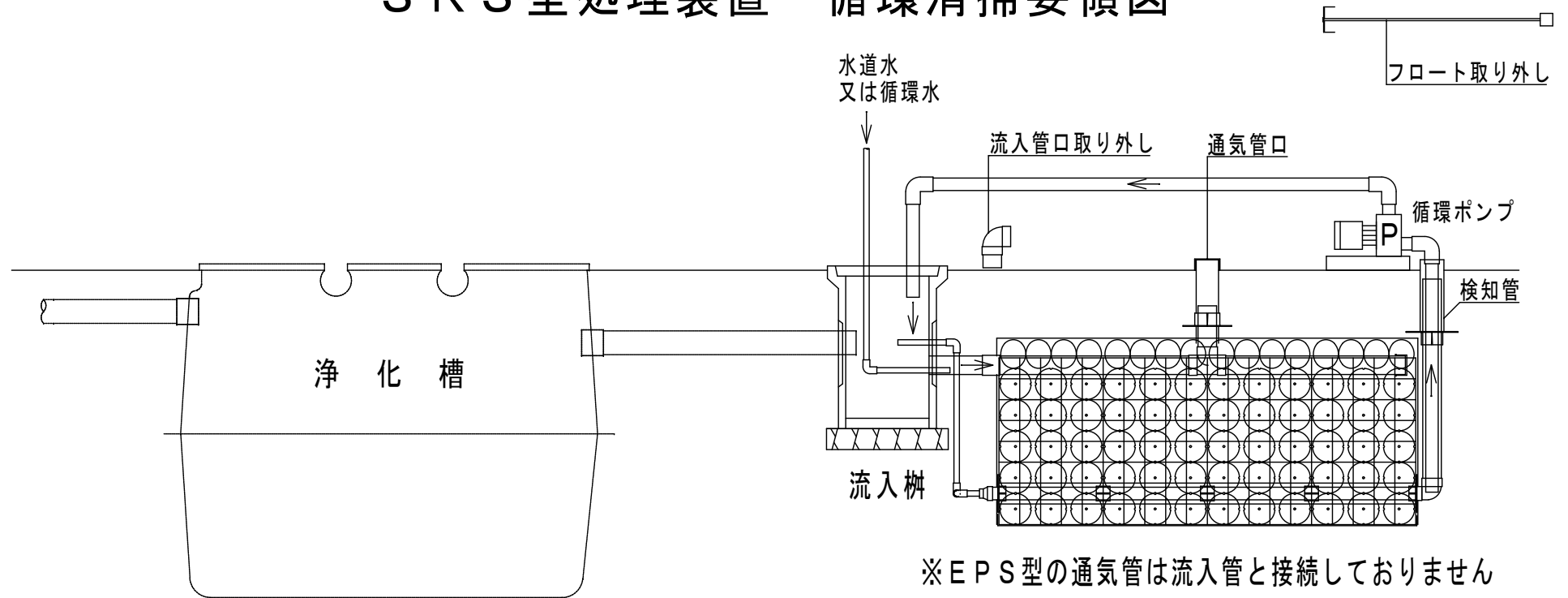
空気の吸排気による自然エネルギーによって自然バッキを発生させ装置に自浄作用が働きます。

95%の空隙率を有しているので一時的な集中流入にも十分対応出来ます。

濾材、装置の洗浄が可能な維持管理機能を有しています。



# SRS型処理装置 循環清掃要領図



※EPS型の通気管は流入管と接続していません  
SRS型浄化槽放流水の土壤浸潤処理装置

## 浄化槽汚泥引き抜き時メンテナンス

- ① 検知管フロート、流入管口、通気管口を取り外します。
- ② ポンプの吸込側配管を検知管内に挿入し、吐出側配管を流入樹又は通気管に入れ散水管の通水を確認しながら装置内水を循環させます。
- ③ 装置内水位が低い時は、散水管口及び通気管口より給水し、散水管の通水を確認しながら循環させます。
- ④ 濁水化した装置内水はバキューム車により処分して下さい。